

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆ナフサ国内生産、経産相「7月は例年並み」 設備定期修理が続々完了

・赤沢亮正経済産業相は閣議後の記者会見で、ナフサ(粗製ガソリン)の国内生産について「設備の定期修理の集中期間が終わる7月をめどに例年並みに戻る」との見通しを示した。中東混迷前はナフサ供給の4割を国内生産が占めていた。以前は輸入の7割ほどを中東に依存しており、政府は代替輸入に力を入れることで供給不安を和らげる。

◆26年の食品値上げ最大2万品目 民間推計、中東情勢で前年並み水準

・帝国データバンクは2026年の飲食料品の値上げ品目数が最大で約2万品目に到達するとの推計を発表。25年(2万609品目)並みの水準となる可能性があるという。中東情勢が緊迫し、幅広い品目に影響する。26年の飲食料品の値上げ品目数は、6月1日時点での集計で少なくとも1万1157品目に上る。5年連続で年間1万品目を超える見込み。

◆1～3月の需給ギャップ、プラス0.5%に 年率3兆円の需要超過

・内閣府は日本経済の需要と供給の差を表す需給ギャップが2026年1～3月期はプラス0.5%だったとの推計結果を発表。年換算で3兆円の需要超過だった。24年10～12月期から6四半期連続でのプラスとなった。26年1～3月期の国内総生産(GDP)速報値に基づいて試算。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆銅高騰で水道メーター盗多発、標的は集合住宅の空室 発覚の遅れ狙う

・水道メーターの盗難が全国で多発。集合住宅の空き部屋が狙われ、被害の発覚が遅れるケースが目立つ。価格が高騰している銅を含む金属部分を不正に売りさばく目的とみられる。不要な水道メーターの撤去を進める自治体も出てきた。4月18日、東京都町田市の都営住宅で口径2センチの水道メーター10個が盗まれる被害が発覚。

◆次世代太陽電池「カルコパイライト」を壁に直接設置 東京ガス新工法

・東京ガスは次世代太陽電池を壁に貼る工法を開発したと発表。接着剤の種類や塗り方を工夫した独自工法で、太陽光パネルを建物の壁面などに設置しやすくした。2026年度中の実用化をめざす。建物の壁に設置するのは国内で初めてという。架台を使わず直接壁面に太陽光パネルを貼り付ける。

◆フラット35、6月の最低金利3.21% 現行制度で初の3%超え

・住宅金融支援機構は6月の「フラット35」の金利を発表。借入期間が21年以上で、購入価格に対する融資率が9割以下の場合、最低金利は3.21%となった。2017年に現行制度となって以降、初めて3%を超えた。長期金利の上昇を踏まえ、5月から0.5%上げた。前月比の上げ幅は最も大きかった。

《 注目商品 》

■DAIKEN、「OAフロア」向けの土足対応天然木床材「オフコレフロア」

・オフィスで広く採用されている二重床構造「OAフロア」向けの土足対応天然木床材「オフコレフロア」を発売。必要な箇所のみを容易に取り外せるようにすることで、OAフロアの仕上げ材に求められる床下配線へのアクセス性、メンテナンス性を実現した床材。



■ミラトップ 施工性・普及価格帯にこだわったフルセラミックキッチン

・普及価格帯のセラミックキッチン「ジオーラ」を発売。ワークトップ・扉・サイドパネルのすべてに同一の磁器質タイルを採用したキッチンシリーズ。海外のタイルメーカーから直接素材を仕入れ、加工工程や部材の共通化によりコストを削減。



■オムロン、住宅用蓄電システムでセキュリティ認証「JC-STAR」取得

・オムロンは住宅用蓄電システム「マルチ蓄電プラットフォーム」のモニタリング機器において、IoT製品のセキュリティ機能を評価・可視化する「JC-STAR」認証を取得。JC-STARは、経済産業省および情報処理推進機構(IPA)が運用するセキュリティ要件適合評価ラベリング制度。

